

<投稿規定>

1. 投稿者は、岡山理科大学の教職員・大学院生・学部学生とする。ただし、編集委員会が認めた場合はその限りではない。
2. 原稿の種類は、自然に関する原著論文、短報、学術資料、総説・解説、その他編集委員会が掲載を適当と認めた記事とする。
 - (1) 原著論文：オリジナリティを有する未発表の研究論文とする。
 - (2) 短報：大きな研究の一部をなすものや、速報性を必要とするもの、資料として重要なもの。
 - (3) 学術資料：観察・計測の結果など記録や記載に主眼がおかれたもの。
 - (4) 総説・解説：ある分野に関する研究を総覧し、総合的にまとめ、研究史、現状、問題点、展望などにふれたもの。あるいは、特定の問題に対する知識のまとめや研究方法や技術の紹介、さらに自然に関する話題、人物や著書の紹介など。
3. 投稿された原稿は、原則として、複数の査読者による審査を受けるものとする。
4. 原稿作成は、「投稿規定の細則」に従い、これに規定されていない場合は、最近号の掲載形式を参考にすること。
5. 原稿は掲載が承認された日をもって受理の日とする。原稿の採否、修正、掲載順序、体裁は、編集委員会に一任のこと。
6. 著者校正は初校のみとする。
7. 出版は電子印刷とし、自然フィールドワークセンターのウェブサイトに掲載して一般に公開する。
8. 著者へは掲載論文等のPDFファイルを無料で進呈する。
9. 投稿は随時受付けるが、当該年度号への掲載原稿については、9月末日を投稿〆切日とし、2月中旬までに受理となっている必要がある。間に合わない場合は、次年度号への投稿として継続審査する。
10. 掲載論文等の著作権は、本誌の編集委員長が受理・掲載通知を発行した時点をもって岡山理科大学に譲渡されたものとする。

<投稿規定の細則>

1. 使用する言語は、日本語あるいは英語とする。
2. 原稿の長さは、原則として、PDFファイルにした段階で10ページ以内とするが、編集委員会が認めた場合はその限りでない。
3. 原稿の構成は、原則として、以下の順序とする。

和文：題目、著者名、英文題目、英文著者名、英文要約(Abstract)、本文、謝辞、引用文献、和文要約。

英文：英文題目、英文著者名、英文要約(Abstract)、本文、謝辞(Acknowledgements)、引用文献(References)、和文著者名、和文題目、和文要約。

学術資料、総説・解説等の場合は、最近号の掲載形式を参考にすること。
4. 章は「I, II, III, …」、節は「1, 2, 3, …」、小見出しは「(1), (2), (3)…」とする。謝辞、引用文献、要約には、章番号を付けない。
5. 和文では、「である」調とする。特別の術語以外は常用漢字を使用し、現代かなづかいとする。また、句読点は、全角の()及び()を使用する。
6. 和文では、外国語の術語、物質名、生物の和名は

- カタカナ書きとし、必要に応じて初出のところで全角の()書きで欧文を記入する。
7. 和文では、数字はすべてアラビア数字を使い、1桁の場合は全角で、2桁以上の場合には半角にする。4桁以上の数値では、3桁ごとにカンマで区切る。ただし、引用文献の巻・号・ページの数字は全て半角にし、カンマ切りは行わない。
8. 生物の属ランク以下の学名などのラテン語は、イタリック指定とする。
9. 数量の単位記号を用いる場合は、国際単位系に従い、半角英数字にする。数値が全角である場合を除き、単位記号の前に半角スペースを入れ、和文では、単位記号の後にも半角スペースを入れる(ただし、%、℃及び座標値の単位の場合は除く)。
10. 本文中でスペース、コロン(:)、セミコロン(;)を使用する場合、和文では全角、英文では半角で統一する。また、ハイフン(-)は和文・英文ともに半角で統一する。
11. 文頭の字下げや文中の行揃えなどに、スペースを使用しない。
12. 図(Figure)、表(Table)及び特殊な数式は、そのまま印刷できるように作成する。図・表は、原則として、8.3 cmまたは17.0 cm 巾で割付け、折り込み形式は認めない。図・表中の文字は、十分に判読できる大きさになるよう注意する。
13. 本文中で文献を引用する際には、Smith (1978)、守田ら(1997)あるいは、...(Grim et al. 1999a, 1999b, Ohta & Hada 2012), ...(角野 1998, 西村・川合 2017)として引用する。
14. 本文中に引用した文献は、「引用文献」または「References」に、著者名のアルファベット順として示し、同一著者の場合には年代順に並べ、同一年の場合には1999a, 1999bのようにする。表記については、最新号を参考にすること。
15. 原稿作成上の留意点
 - (1) 本文のファイルは、Microsoft Wordで作成し、A4版、横書きとし、段組は行わない。ファイル名は「第一著者名_本文」とする。
 - (2) 本文の最初のページの最下段(フッター)に所属と住所を和文と英文で記入し、本文の使用言語での表記を先に記す。また、Correspondenceとして、英文氏名とE-mailアドレスを記入する。
 - (3) 図のファイルはJPGまたはPDF形式で、表のファイルはExcel形式で保存する。ファイルは個別に保存し、複数を1つのファイルにまとめない。ファイル名は「第一著者名_図1」、「第一著者名_表1」とする。
 - (4) 図・表の番号と説明は、図や表には書き込まず、本文の末尾に別ページとして付ける。
 - (5) 原稿の容量は、PDFファイルにした段階で最大10 MBとする。これを超える場合は編集委員長の判断に委ねる。
16. 投稿者は、査読候補者を「原稿送り状」に記す。
17. 投稿の前に、本規定及び細則を踏まえて再度原稿を確認し、確認した旨を、「原稿送り状」にチェックする。
18. 投稿は電子投稿とし、「原稿送り先」と原稿のファイルをメール添付で、自然フィールドワークセンター事務局宛(nfc-office@ous.ac.jp)に送付する。

(2024年2月改訂)